

陸奥テックコンサルタント株式会社の取り組み 「持続可能な未来に貢献するために」



- 陸奥テックでは2050年カーボンニュートラル実現に向け、設計業務で環境負荷低減工法の提案を行うなどの間接的な取り組み、ペーパーレス化等の直接的な取り組みを実施。
- 水素自動車を導入するなど脱炭素化に向け率先した取り組みを実施し、社内外へ発信することで環境への意識向上を図っている。
- 社内でCO₂排出量を「見える化」し、温室効果ガス削減に関する効果的な取り組みを周知することで意識啓発を図った。その結果、CO₂排出量を前年比0.6%削減した。

■ 持続可能な事業展開、サステナビリティ経営

○ 経営計画書への環境配慮事項の記載

- ・ 2020年より経営計画書にカーボンニュートラルに向けた取り組みを記載

○ SDGs推進委員会を設立

- ・ 現在10名で継続的に活動（一年間の取り組みを期末に検証）
- ・ 2024年「ふくしまゼロカーボン宣言」事業に参加
- ・ 同年「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」事業に参加

○ 各事業領域における目標設定

- ・ 各事業領域でそれぞれの立場に応じた目標を設定し、SDGs関連や2050年カーボンニュートラルに向けた持続可能な社会の実現を目指した活動を継続



バッジ着用による意識向上

HPでSDGsに関する取り組みについて
↓↓ 簡単にご紹介しています ↓↓

🔍 <http://www.mutsu-s.co.jp/activity/sdgs/>

事業領域	重点課題「地球環境に貢献」－具体的取組目標（抜粋）
道路・都市	・ カーボンニュートラル、カーボンリサイクルを目指し、環境負荷低減に取り組むとともに、気候変動により激甚化・頻発化する水災害に適應する防災・減災、国土強靱化に貢献する。 ・ 集約型都市構造、低炭素まちづくり、ウォークアブルなまちづくり等の提案を行う。 ・ エコマテリアル及びグリーン購入法における特定調達品目採用の検討、また、グリーンインフラ、緑化工法の活用を検討し、環境負荷低減の提案を行う。
構造技術（橋梁）	・ カーボンニュートラル、カーボンリサイクルなどにより、環境負荷低減に取り組むとともに、気候変動により激甚化・頻発化する水災害に適應する防災・減災、国土強靱化に貢献する。 ・ 部内勉強会を実施することで脱炭素化に関する知識の底上げを図り、カーボンニュートラルへの取組みとして、施工性の向上やコンクリートの脱炭素化、環境負荷の少ない資材の検討・提案を推進する。
河川・砂防	・ カーボンニュートラルに向けた取組みとして、受注業務でCO₂の吸収を促進する工法提案（施工方法・施工機械・資材選定）を継続する。 ・ 業務においてCO₂削減工法の抽出、整理を行い、標準仕様にする。
環境保全	・ SDGs実現に寄与する環境関連の業務分野を拡大する。また、他部と連携し環境保全に資する付加価値を向上させる。
空間計測	・ 三次元計測で環境調査・施設維持管理事業へ貢献する。 ・ 技術系の各部と連携し、環境調査業務関連への参画を推進する。
ICTソリューション	・ 点検業務や環境調査用にカスタマイズを行ったタブレットアプリ（オフライン機能を追加した自社GIS）の開発と活用を行う。
用地調査	・ ペーパーレス化推進で、紙の使用量を削減し、ペーパーレス化推進効果を定量的に可視化（KPI管理）する。 ・ 電子野帳システムの開発により野帳紙使用量を削減する。
総務・営業	・ 自社の温室効果ガスの排出量の現状と目標を「見える化」するとともに、削減作戦を戦略的に立案する。 ・ 温室効果ガスの削減の具体策として8月と4月に書類整理、電子化を推進する「書籍スリム化月間」を実施。 ・ 環境関連業務（再生可能エネルギー分野を含む）での受注を拡大する。

陸奥テックコンサルタント株式会社の取り組み 「持続可能な未来に貢献するために」

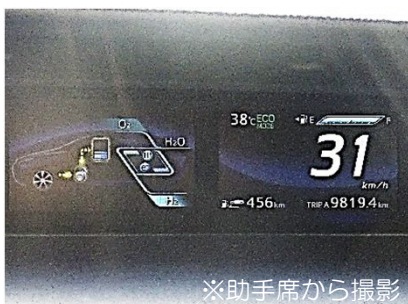


社内における取り組み

燃料電池自動車・ハイブリッド車の導入



水素自動車



※助手席から撮影

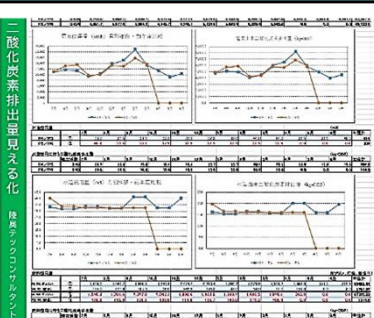
- 走行中にCO₂を排出しない水素自動車、また、排出ガスが少ないハイブリッド車を導入している。
- 水素自動車を導入したことで地域に水素ステーションが増加し、水素自動車の利用環境整備に貢献している。

社屋照明のLED化



- 社屋照明のLED化により、消費電力量の削減・長寿命による交換頻度の低下・低発熱による地球温暖化対策を図っている。

CO₂排出量見える化



- エネルギー使用量を記録しCO₂排出量を見える化。
- 社内に展開し、意識啓発を行っている。

社屋屋上での太陽光発電



- 社屋の屋上に太陽光パネルを設置し、発電・売電を行っている。

会社敷地のエコ舗装



- 廃ペットボトルを活用したアスファルト舗装を会社敷地に敷設。
- 道路に面した位置に使用材料に関するプリントを表示。

結果

前年比
0.6%削減

※117,098kg-CO₂ (R5.7~R6.6)
→116,360kg-CO₂ (R6.7~R.7.6)

エコキャップ運動



収集業者へ搬出する様子

- ペットボトルキャップを収集することで、リサイクルの売却益がポリオワクチンの製造費となるエコキャップ運動に協力している。
- リサイクルの過程で、障がい者・高齢者の雇用が創出される。
- 焼却処分されるごみが減られ、焼却時のCO₂排出量を削減。
- 社内外で発生したペットボトルキャップを収集し、リサイクル意識を向上している。
- 焼却した場合のCO₂排出量を社内周知することで、リサイクルの効果を「見える化」している。

「エコキャップ」回収トレイ

回収されたキャップは
ポリオワクチン、障がい者雇用に役立てられます！

【キャップ回収ルール】

- ①ペットボトル以外のキャップを入れないで下さい
- ②汚れを落としてください
- ③シールを剥がしてください



ペットボトルキャップの回収にご協力をお願いします
SDGs 推進委員会

拡大図